P3AM-4872-12

ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ

はじめにお読みください

このたびは、弊社のETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ（以降ETERNUS DX ディスクアレイ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書をお読みになり、梱包物に漏れがないかご確認ください。
次にセットアップ手順に従って、セットアップの流れを確認してください。詳しい手順については、参照 マークに記載のマニュアルをお読みください。
また、ETERNUS DX ディスクアレイに添付のマニュアルと、関連するマニュアルの一覧を掲載しています。必要な場面でご参照ください。

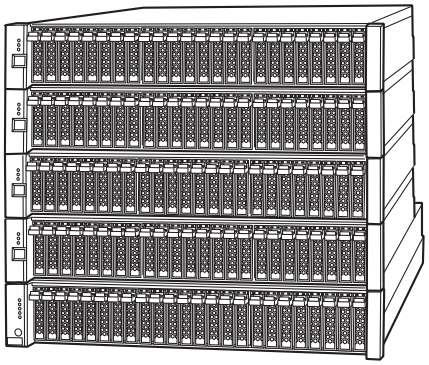
⚠注意
指示

ETERNUS DX ディスクアレイをご使用になる前に、添付の『安全上のご注意』を必ずお読みください。
参照 安全上のご注意

ETERNUS DX ディスクアレイの機能拡張や改善などのため、本書の内容が変更されている場合があります。
本書の最新版やETERNUS DX ディスクアレイに関する最新の情報は、以下のサイトで公開されています。必要に応じてご覧ください。
http://storage-system.fujitsu.com/jp/products/diskarray/dx80_dx90-s2/

目次

添付マニュアル.....2
関連マニュアル.....2
梱包物一覧.....3
セットアップ手順.....8
運用と保守.....17
関連規約.....18



本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

FUJITSU

P3AM-4872-12

添付マニュアル

ETERNUS DX ディスクアレイに添付のドキュメントCDには、以下のマニュアルが収録されています。

マニュアル名称	マニュアルコード	概要
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ 製品概説	P3AM-4812	ETERNUS DX ディスクアレイの仕様、特長、機能について説明しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ ユーザーズガイド 設置編	P3AM-4822	ETERNUS DX ディスクアレイの搬入と設置の要件について説明しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ ユーザーズガイド 導入編	P3AM-4832	ETERNUS DX ディスクアレイの設置から運用開始までの作業手順について説明しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ ユーザーズガイド 運用編	P3AM-4842	ETERNUS DX ディスクアレイの運用管理と保守について説明しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ プロダクトリスト	P3AM-4852	ETERNUS DX ディスクアレイおよびオプション製品の一覧と組み合わせなどについて記載しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ はじめにお読みください	P3AM-4872	ETERNUS DX ディスクアレイのマニュアル体系、梱包物一覧、セットアップ手順、関連規約について説明しています。冊子のマニュアルも添付されます。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ はじめにお読みください（オプション製品用）	P3AM-5052	オプション製品の梱包物一覧について説明しています。オプション製品をご購入いただいた場合は、冊子のマニュアルも添付されます。
ETERNUS DX60 S2/DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ はじめにお読みください（オプション製品用）	P3AM-5562	
ETERNUS DX60 S2/DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ 安全上のご注意	P3AM-5062	ETERNUS DX ディスクアレイの安全上の注意事項について記載しています。冊子のマニュアルも添付されます。
ETERNUS Web GUI ユーザーズガイド ETERNUS DX80 S2/DX90 S2, ETERNUS DX410 S2/DX440 S2, ETERNUS DX8100 S2/DX8700 S2 ディスクアレイ用	P2X0-1090	GUI（Graphical User Interface）を使用して装置を監視、設定する操作について説明しています。
ETERNUS CLI ユーザーズガイド ETERNUS DX80 S2/DX90 S2, ETERNUS DX410 S2/DX440 S2, ETERNUS DX8100 S2/DX8700 S2 ディスクアレイ用	P2X0-1030	CLI（Command Line Interface）を使用して装置を監視、設定する方法について説明しています。
ETERNUS SMI-S ユーザーズガイド ETERNUS DX80 S2/DX90 S2, ETERNUS DX410 S2/DX440 S2, ETERNUS DX8100 S2/DX8700 S2 ディスクアレイ用	P3AM-4602	SMI-S（Storage Management Initiative - Specification）をサポートする汎用ストレージ管理アプリケーションを使用して装置を一括管理する方法について説明しています。

関連マニュアル

ETERNUS DX ディスクアレイに関連するマニュアルは以下のとおりです。

マニュアル名称	マニュアルコード	概要
ETERNUS DX ディスクアレイ ユーザーズガイド サーバ接続編 (*1)		ETERNUS DX ディスクアレイをサーバと接続するために必要な設定について説明しています。
ETERNUS DX60/DX60 S2, DX80/DX80 S2, DX90/DX90 S2, ETERNUS2000 ディスクアレイ ユーザーズガイド 電源連動ユニット編	P3AM-2532	電源連動ユニットの使用方法について説明しています。
ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ ライセンスの取り扱いについて	P3AM-5072	ETERNUS DX ディスクアレイの「増設ホストインターフェース」、「シン・プロビジョニング機構」、「アドバンスト・コピー機構」のライセンスの取り扱いについて説明しています。

*1： お客様がご使用の環境（サーバのOS、ホストインターフェースの種類など）に応じて、必要なマニュアルを指定のサイトからダウンロードしてください。
ダウンロードサイトのURLについては、ETERNUS DX ディスクアレイに添付のドキュメント CDを参照してください。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

梱包物一覧

ご購入いただいた製品の梱包物一覧をご覧になり、梱包物に漏れがないかご確認ください。梱包物を確認したらチェック欄(□)にチェックマーク(レ)を付けてください。

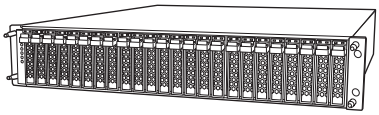
万一、欠品などがありましたら、担当営業員に連絡してください。

- 梱包物は、システムの変更時やソフトウェアの再インストール時に必要となるため、大切に保管してください。
- 以下の梱包物のほかに、注意書きの紙が入っている場合があります。

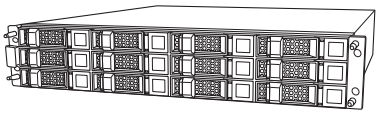
ETERNUS DX80 S2（2.5 インチ用）（型名：ET082DC a (*1)）
ETERNUS DX80 S2（3.5 インチ用）（型名：ET082DD b (*1)）
ETERNUS DX90 S2（2.5 インチ用）（型名：ET092DC a (*1)）
ETERNUS DX90 S2（3.5 インチ用）（型名：ET092DD b (*1)）

□ コントローラーエンクロージャ（1台）

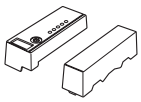
- 2.5インチ用



- 3.5インチ用

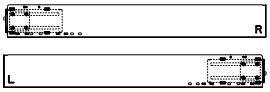


□ フランジカバー（1セット）



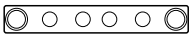
□ ラックレールキット

- □ ラックレール（1セット）



- □ 金具（2個）

- □ プレート（2個）



- □ ワッシャー（8個）

- □ M5ネジ
  装置取り付け用（4個）

- □ M5ネジ
  ラックレール取り付け用（8個）

□ LANストレートケーブル（2本）RJ45↔RJ45（5m）

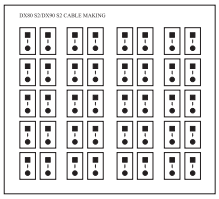
□ 電源コード（2本）IEC60320-C13↔NEMA 5-15P（3m）

□ ピン（1個）

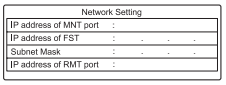
コントローラーエンクロージャのFUNCTIONボタンを押す場合に使用します。

□ ラベル

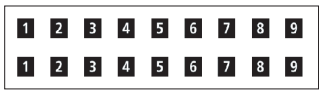
- □ 行き先ラベル（1枚）
  QSFPケーブル用



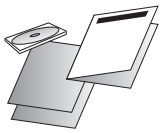
- □ Network Settingラベル（1枚）



- □ DE_No.ラベル（1枚）



□ 保証書（1枚）
□『はじめにお読みください』（本書）（1部）
□『安全上のご注意』（1部）
□ ドキュメントCD（1枚）



*1： a に「X1」または「X2」が入る場合は、以下のドライブが取り付けられています。
X1：600GB 2.5インチSASディスクドライブ24台
X2：900GB 2.5インチSASディスクドライブ24台

b に「X2」、「X3」、または「X4」が入る場合は、以下のドライブが取り付けられています。
X2：2TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台
X3：3TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台
X4：4TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台

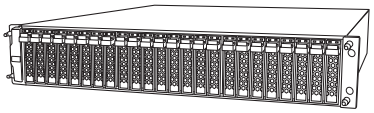
上記以外の場合は、ETERNUS DX ディスクアレイと同時にご購入いただいたドライブが搭載ルールに基づいて取り付けられています。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

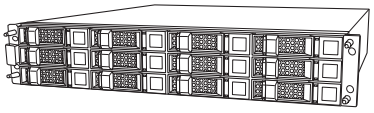
ドライブエンクロージャ（2.5 インチ用）（型名：ETEAD2C**a** (*1)）
ドライブエンクロージャ（3.5 インチ用）（型名：ETEAD2D**b** (*1)）

☐ ドライブエンクロージャ（1台）

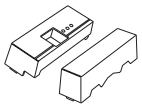
● 2.5インチ用



● 3.5インチ用



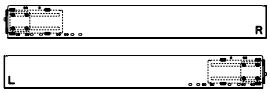
☐ フランジカバー（1セット）



☐ QSFPケーブル（2本） QSFP↔QSFP（0.75m）

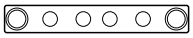
☐ ラックレールキット

☐ ラックレール（1セット）



☐ 金具（2個）

☐ プレート（2個）



☐ ワッシャー（8個）

☐ M5ネジ
装置取り付け用（4個）

☐ M5ネジ
ラックレール取り付け用（8個）

☐ 電源コード（2本） IEC60320-C13↔NEMA 5-15P（3m）

*1： **a** に「1」または「2」が入る場合は、以下のドライブが取り付けられています。

1：600GB 2.5インチSASディスクドライブ24台
2：900GB 2.5インチSASディスクドライブ24台

b に「2」、「3」、または「4」が入る場合は、以下のドライブが取り付けられています。

2：2TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台
3：3TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台
4：4TB 3.5インチニアラインSASディスクドライブ12台

上記以外の場合は、ETERNUS DX ディスクアレイと同時にご購入いただいたドライブが搭載ルールに基づいて取り付けられています。

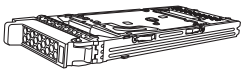
Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

SAS ディスクドライブ（型名：ETED**a** **b** **c** **d** (*1)）

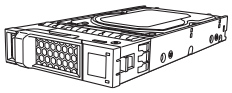
□ ディスクドライブ

コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャに取り付けられています。

● 2.5インチ



● 3.5インチ



*1： **a** には、ドライブ容量を表す英数字が入ります。

3：300GB
4：450GB
6：600GB
9：900GB

b には、ドライブのセット本数（RAIDタイプ）を表す英数字が入ります。

H：1台
M：2台（RAID1）
P：6台（RAID5）
D：6台（RAID6）
S：6台（RAID1+0）

c には、ドライブサイズと回転数を表す英数字が入ります。

C：10krpm 2.5インチSASディスクドライブ
D：15krpm 3.5インチSASディスクドライブ
E：10krpm 2.5インチSAS自己暗号化ディスクドライブ
G：15krpm 2.5インチSASディスクドライブ

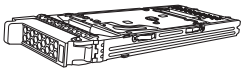
ご購入の製品によっては、**d** に英数字が入る場合があります。

ニアライン SAS ディスクドライブ（型名：ETEN**a** **b** **c** **d** (*1)）

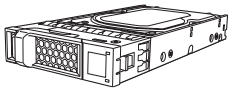
□ ディスクドライブ

コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャに取り付けられています。

● 2.5インチ



● 3.5インチ



*1： **a** には、ドライブ容量を表す英数字が入ります。

1：1TB
2：2TB
3：3TB
4：4TB

b には、ドライブのセット本数（RAIDタイプ）を表す英数字が入ります。

H：1台
M：2台（RAID1）
P：6台（RAID5）
D：6台（RAID6）
S：6台（RAID1+0）

c には、ドライブサイズを表す英数字が入ります。

C：2.5インチ
D：3.5インチ

ご購入の製品によっては、**d** に英数字が入る場合があります。

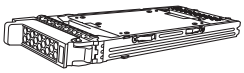
Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

SSD（型名：ETES**a** **b** **c** **d** (*1)）

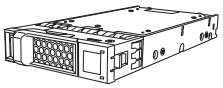
☐ SSD

コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャに取り付けられています。

● 2.5インチ



● 3.5インチ



*1： **a** には、ドライブ容量を表す英数字が入ります。

1：100GB
2：200GB
4：400GB
8：800GB

b には、ドライブのセット本数（RAIDタイプ）を表す英数字が入ります。

H：1台
M：2台（RAID1）
P：4台（RAID5）
S：6台（RAID1+0）

c には、ドライブサイズを表す英数字が入ります。

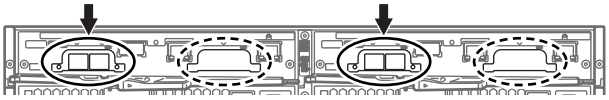
C、E：2.5インチ
D、F：3.5インチ

ご購入の製品によっては、**d** に英数字が入る場合があります。

ホストインターフェース（型名：ETEH**a**2**b** **c** (*1)）

☐ ホストインターフェースアダプター（2個）

コントローラーエンクロージャ背面の以下の位置に搭載されています。



2セットご購入いただいた場合は、（　　）の位置に2セット目のホストインターフェースアダプターが取り付けられています。

☐ ホストインターフェースケーブル (*2)

型名の **b** が「1」の場合は2本、「2」の場合は4本添付されています。

*1： **a** には、ホストインターフェース種別を表す英数字が入ります。

C：FCoE
F：8Gbit/s FC
H：16Gbit/s FC
L：1Gbit/s iSCSI
S：SAS
Y：10Gbit/s iSCSI

b には、ホストインターフェースアダプターあたりのポート数を表す英数字が入ります。

1：1ポート
2：2ポート
F：1ポート（SFP+モジュールなし）
N：2ポート（SFP+モジュールなし）

ご購入の製品によっては、**c** に英数字が入る場合があります。

*2： 以下のホストインターフェースケーブルが添付されています。

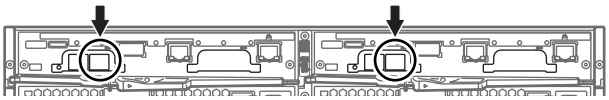
16Gbit/s FC、8Gbit/s FC、10Gbit/s iSCSI、FCoE：	FCケーブル　Dual-LC↔Dual-LC（5m、被覆なし）
1Gbit/s iSCSI：	LANケーブル　RJ45↔RJ45（5m）
SAS：	miniSASケーブル　SFF8470↔SFF8088（1.5m）

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

増設ホストインターフェース（型名：ETEAH a b (*1)）

□ 増設ホストインターフェース

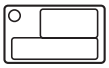
コントローラーエンクロージャ背面の以下の位置に搭載されています。



□ ホストインターフェースケーブル (*2)

2本添付されています。ただし、型名の a が「CN」または「XN」の場合は添付されません。

□ ライセンスラベルプレート（1枚）



□ リリースタイ（1本）

*1： a には、ホストインターフェース種別を表す英数字が入ります。

C、CN：FCoE
F：　8Gbit/s FC
FH：　16Gbit/s FC
L：　1Gbit/s iSCSI
S：　SAS
X、XN：10Gbit/s iSCSI

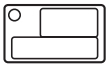
ご購入の製品によっては、b に英数字が入る場合があります。

*2：以下のホストインターフェースケーブルが添付されています。

16Gbit/s FC、8Gbit/s FC、10Gbit/s iSCSI、FCoE：FCケーブル　Dual-LC↔Dual-LC（5m、被覆なし）
1Gbit/s iSCSI：　LANケーブル　RJ45↔RJ45（5m）
SAS：　miniSASケーブル　SFF8470↔SFF8088（1.5m）

ライセンス（型名：ETEL a b c (*1)）

□ ライセンスラベルプレート（1枚）



□ リリースタイ（1本）

*1： a には、対象機種を表す英数字が入ります。

8：ETERNUS DX80 S2 ディスクアレイ用
9：ETERNUS DX90 S2 ディスクアレイ用

b には、ライセンス種別を表す英数字が入ります。

C：アドバンスト・コピー機構
T：シン・プロビジョニング機構

ご購入の製品によっては、c に英数字が入る場合があります。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

セットアップ手順

STEP 1 事前準備

事前に設置場所とネットワーク接続に関する準備が必要です。

以下のマニュアルを必ず準備してください。

- ドキュメントCD
- ご使用のサーバやネットワーク機器の取扱説明書

■ 設置場所

設置場所のスペース

ETERNUS DX ディスクアレイを搭載するラックのサービスエリアに従って、設置スペースを確保してください。

設置場所と周囲環境の条件

ETERNUS DX ディスクアレイの設置場所が周囲環境条件および設置環境条件を満たしているか、確認してください。

参照 ・設置編「2.1 設置諸元」
・設置編「2.4 設置環境」

電源コンセントの確認

ETERNUS DX ディスクアレイを設置する際に必要な電源コンセントの形状と数を確認してください。

参照 設置編「2.5 電源コンセント仕様」

■ ネットワーク接続

参照 ・導入編「1.1 接続の準備」
・導入編「1.2 設定の準備」
・ETERNUS Web GUI ユーザーズガイド

Network Settingラベルの記入と貼り付け

Network Settingラベルに以下の情報を記入して、コントローラーエンクロージャに貼り付けてください。

- ETERNUS DX ディスクアレイ用のIPアドレス／サブネットマスク
- 保守作業時に使用するIPアドレス

PCの設定

- ネットワーク環境設定
  - IPアドレス：192.168.1.2
  - サブネットマスク：255.255.255.0
- Webブラウザの設定
  必要な設定については、『ETERNUS Web GUI ユーザーズガイド』を参照してください。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

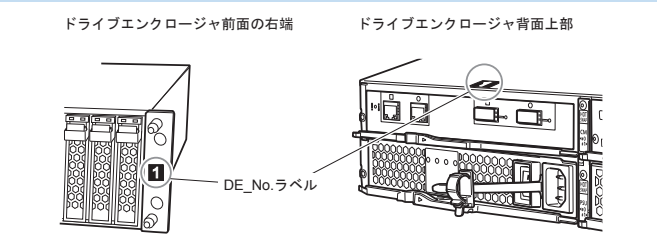
STEP 2 ラックへの搭載

ラックにレールを取り付けて、コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャを設置します。

参照 導入編「第3章 ラックへの搭載」

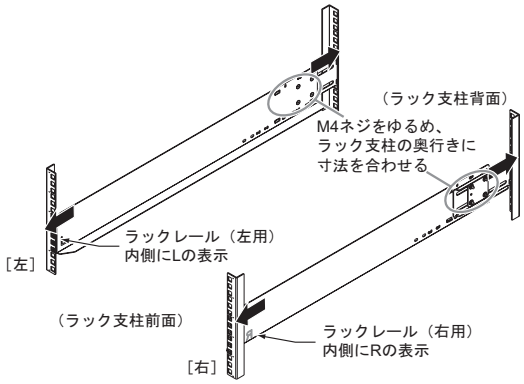
重要

- ドライブエンクロージャはコントローラーエンクロージャの上に搭載してください。ドライブエンクロージャを複数台搭載する場合は、ドライブエンクロージャに貼り付けてあるDE_No. ラベルの番号の順に従って搭載してください。
  DE_No. ラベルは、以下の位置に貼り付けられています。

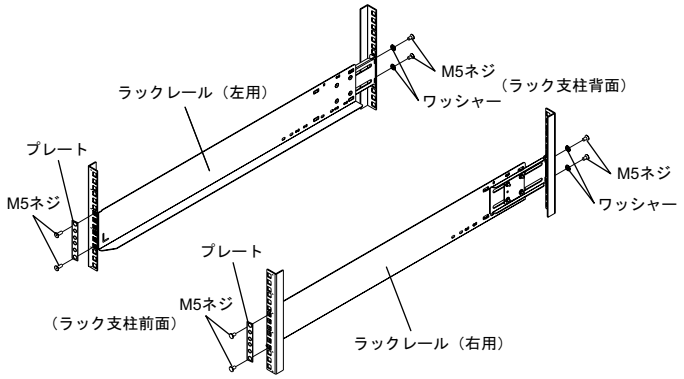


- 転倒防止のため、重心の位置に注意してください。ラックの安定性の面から、基本的にはラックの下部から上部へ順に搭載し、重心を下げるようにしてください。

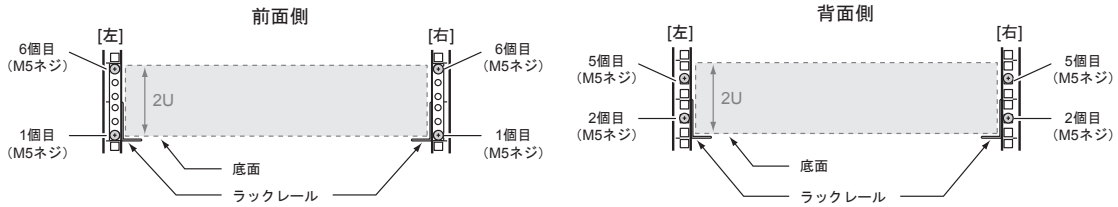
1. 搭載するラックに合わせて、ラックレールの寸法を調整します。



2. ラックレールをラックに取り付けます。
コントローラーエンクロージャおよびドライブエンクロージャの各筐体サイズは2Uです。



ラックレールを取り付けるM5ネジは、コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャを取り付けたときの底面の位置から決まります。
前面は底面から1個目と6個目、背面は底面から2個目と5個目に、M5ネジでラックレールを固定します。

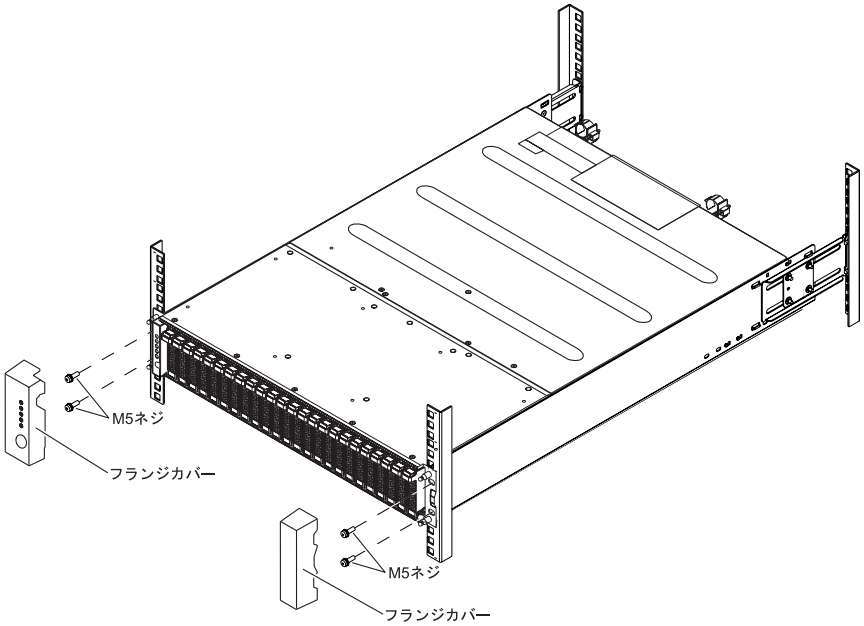


Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

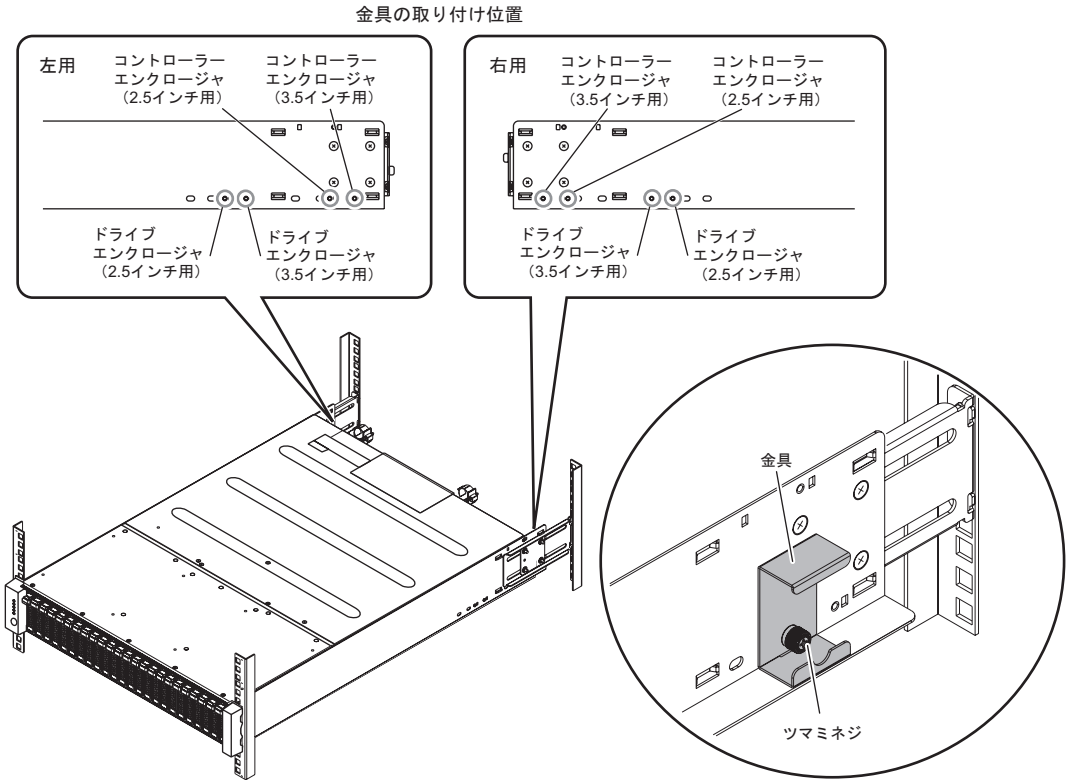
3. コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャをラックに搭載します。

> **重要** コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャをラックに搭載したり、ラックから取り外したりする場合は、担当営業員または担当保守員に連絡してください。

4. コントローラーエンクロージャまたはドライブエンクロージャとラックを固定します。
M5ネジ4個でラック支柱に固定し、フランジカバーを取り付けてください。



5. ラックレール（左用および右用）に金具を取り付けます。
金具は背面側の指定の位置にツマミネジで取り付けてください。



Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

STEP 3

ケーブルの接続

ETERNUS DX ディスクアレイ背面のコネクターに各ケーブルを接続します。

ポイント　ケーブルの管理を容易にし、ケーブルの接続ミスなどを防止するため、各ケーブルにラベルを貼り付け、接続元や接続先を記入してください。

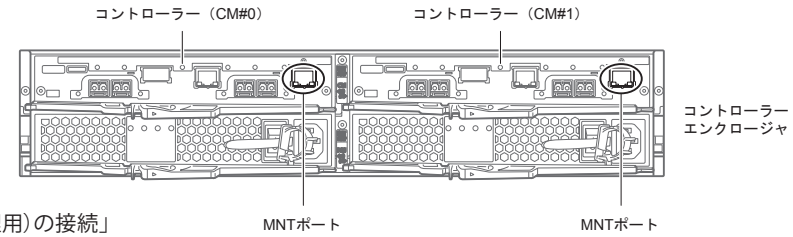
重要　ケーブルにストレスを加えないように接続してください。

1 LAN ケーブル（運用管理用）

各MNTポートにLANケーブル（運用管理用）を接続してください。

ケーブル

背面



参照　導入編「4.1 LANケーブル（運用管理用）の接続」

2 ホストインターフェースケーブル

各ホストインターフェースポートにホストインターフェースケーブルを接続してください。

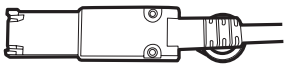
ケーブル

- FC、iSCSI 10Gbit/s、FCoE（FC ケーブル接続用）

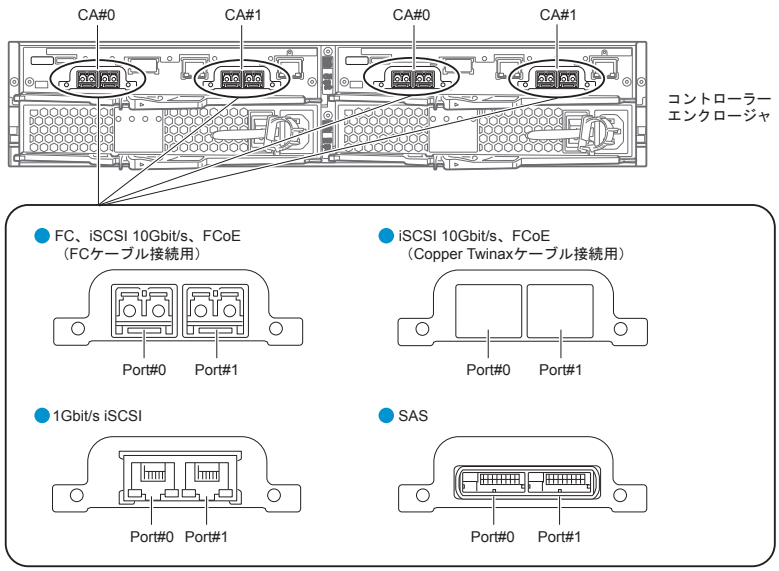
- iSCSI 10Gbit/s、FCoE（Copper Twinaxケーブル接続用）

- 1Gbit/s iSCSI

- SAS



背面



参照　導入編「4.2 ホストインターフェースの接続」

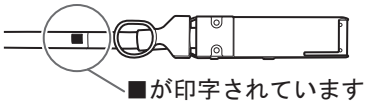
Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

3 QSFP ケーブル

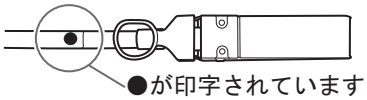
ドライブエンクロージャを搭載している場合は、各エンクロージャのDIポート間をQSFPケーブルで接続してください。

ケーブル

● DI(OUT)ポートに接続するコネクター



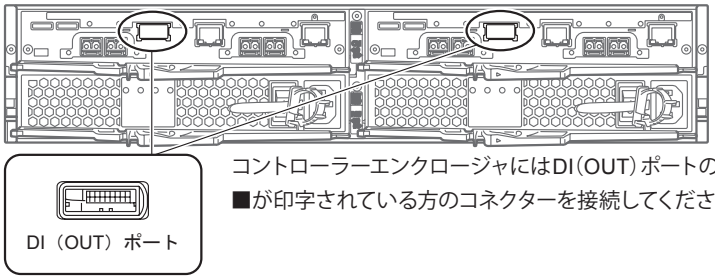
● DI(IN)ポートに接続するコネクター



QSFPケーブルのコネクターには、行き先ラベルを貼り付けてください。

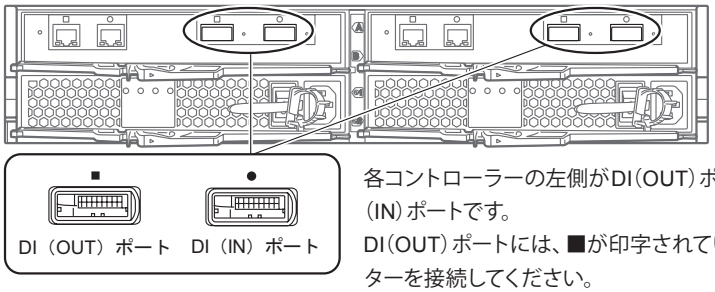
背面

● コントローラーエンクロージャ



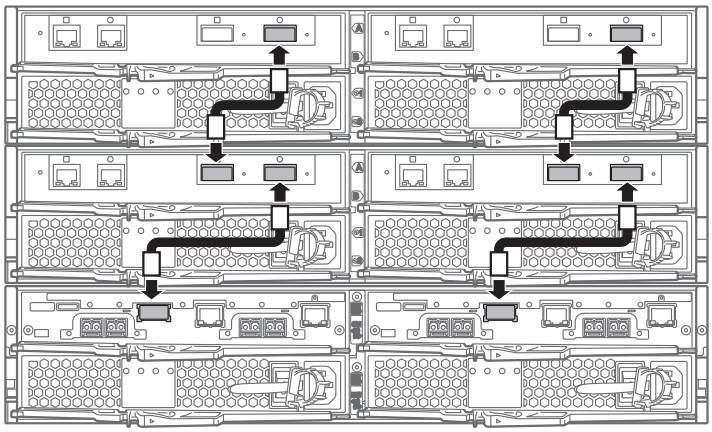
コントローラーエンクロージャにはDI(OUT)ポートのみがあります。
■が印字されている方のコネクターを接続してください。

● ドライブエンクロージャ



各コントローラーの左側がDI(OUT)ポート、右側がDI(IN)ポートです。
DI(OUT)ポートには、■が印字されている方のコネクターを接続してください。
DI(IN)ポートには、●が印字されている方のコネクターを接続してください。

● QSFPケーブルの接続例
（ドライブエンクロージャを2台搭載している場合）
コントローラーエンクロージャのDI(OUT)ポートとドライブエンクロージャ1のDI(IN)ポート、ドライブエンクロージャ1のDI(OUT)ポートと2のDI(IN)ポート、…のように、QSFPケーブルを順に接続してください。
ドライブエンクロージャの番号は、前面の右端に貼り付けされている「DE_No. ラベル」で確認できます。



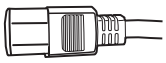
参照 導入編「4.3 ドライブエンクロージャの接続」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

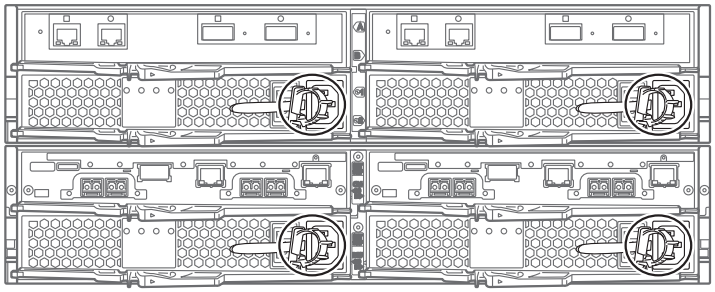
4 電源コード

電源ユニットのインレットに電源コードを接続します。
電源コードは、リリースタイで抜けないように固定してください。

ケーブル



背面



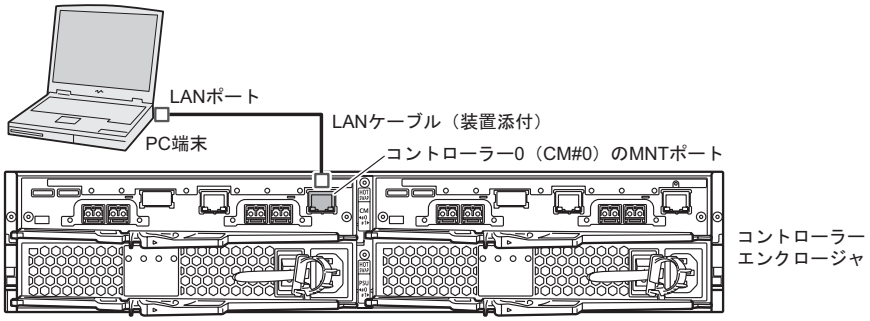
参照 導入編「4.5 電源コードの接続」

STEP 4 ETERNUS DX ディスクアレイの基本設定

ETERNUS Web GUI で ETERNUS DX ディスクアレイの基本的な設定を行います。

1 ETERNUS DX ディスクアレイと PC 端末の接続

ETERNUS DX ディスクアレイと PC 端末を接続します。
コントローラーエンクロージャのコントローラー0（CM#0）の MNT ポートと PC 端末を、添付の LAN ケーブル（運用管理用）で直接接続してください。



重要

- コントローラー0（CM#0）のMNTポートのLANケーブルがネットワーク機器に接続されている場合は、PC端末に接続し直してください。
- コントローラー1（CM#1）のMNTポートに接続されているLANケーブルは取り外してください。

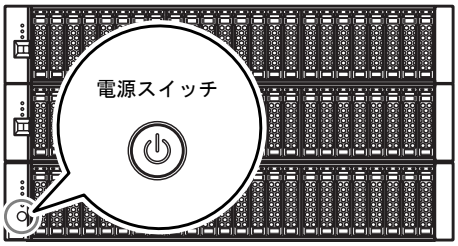
参照 導入編「5.1.1 ETERNUS DX ディスクアレイとPC端末の接続」

2 電源の投入

PC端末とETERNUS DX ディスクアレイの電源を投入します。

重要

初めて電源を投入したときに、工場出荷時に設定されているボリュームフォーマットの処理が実行される場合がありますが、そのままETERNUS DX ディスクアレイの設定作業を継続できます。



参照 導入編「5.1.2 電源の投入」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

3 ETERNUS Web GUI の起動

1. PC端末でWebブラウザを起動します。
2. Webブラウザのアドレスバーに以下のURLを入力します。
   http://192.168.1.1/
   ETERNUS Web GUIのログイン画面が表示されます。
3. 言語を変更する場合は、[オプション]ボタンをクリックして、「Language：」でEnglishまたはJapaneseを選択します。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
   ユーザー名：root
   パスワード：root（初期状態）

ログインすると、ETERNUS Web GUIの初期設定画面が表示されます。

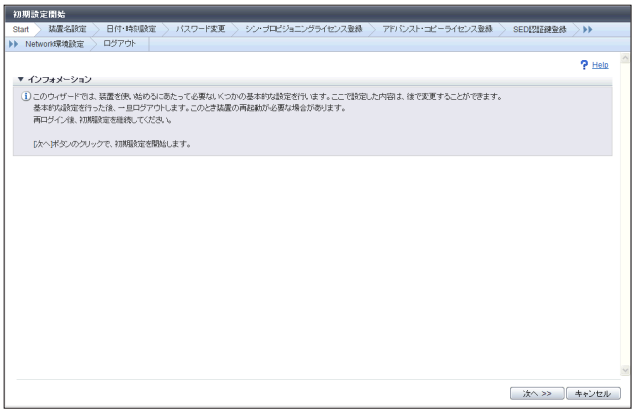
参照 導入編「5.1.3 ETERNUS Web GUIの起動」

4 初期設定

ETERNUS DX ディスクアレイを運用する前に必要な設定を、初期設定画面で行います。

ウィザード形式の画面に従って、以下を設定してください。

- 装置名称設定
- 日付時刻設定
- パスワード変更
- シン・プロビジョニングライセンス登録
- アドバンスト・コピーライセンス登録
- SED認証鍵登録
- ネットワーク環境設定



設定終了後、Webブラウザを終了します。

PC端末からLANケーブル（運用管理用）を取り外し、コントローラー0およびコントローラー1のMNTポートのLANケーブル（運用管理用）をお客様のネットワークに接続してください。

その後、ネットワークに接続されているPC端末でWebブラウザを起動し、ネットワーク環境設定で設定したIPアドレスでETERNUS Web GUIに再ログインしてください。ログインするとオーバービュー画面が表示されます。

参照 導入編「5.1.4 初期設定」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

5 RAID 構成設定

ETERNUS DX ディスクアレイのRAID構成を設定します。

ここでは以下を設定します。

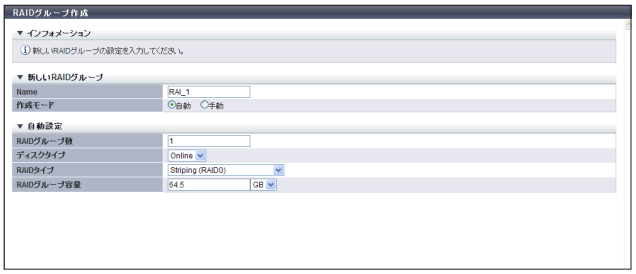
- RAID グループの作成
- ボリュームの作成
- ホットスペアの登録

ポイント　工場出荷時にRAIDグループ、ボリューム、マッピングが設定されています。工場出荷時の設定を変更する場合は、『ETERNUS Web GUI ユーザーズガイド』を参照して設定を行ってください。

☐ RAID グループの作成

ボリュームを作成するRAIDグループを作成します。
RAID グループを作成する画面は以下の方法で表示します。

[RAIDグループ]タブ ― [アクション]から「作成」をクリックします。



☐ ボリュームの作成

RAIDグループにボリュームを作成します。
ボリュームを作成する画面は以下の方法で表示します。

[ボリューム]タブ ― [アクション]から「作成」をクリックします。

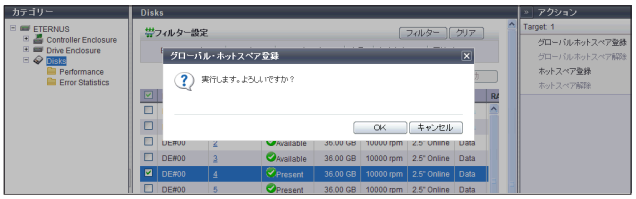
☐ ホットスペアの登録

ドライブの故障に備えて、ホットスペアを登録します。
ホットスペアを登録する画面は以下の方法で表示します。

[コンポーネント]タブ ― カテゴリーの「Disks」をクリックします。

- グローバルホットスペアの登録

  グローバルホットスペアに登録するドライブのチェックボックスをチェックして、[アクション]から「グローバルホットスペア登録」をクリックします。



- 専用ホットスペアの登録

  専用ホットスペアに登録するドライブのチェックボックスをチェックして、[アクション]から「専用ホットスペア登録」をクリックします。

参照　導入編「5.1.5 RAID構成設定」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

6 ホストアフィニティの設定

ホスト(サーバ)がアクセスできるホストインターフェースポートおよび認識できるボリュームを関連付けることで、複数サーバ接続時のセキュリティを保証できます。

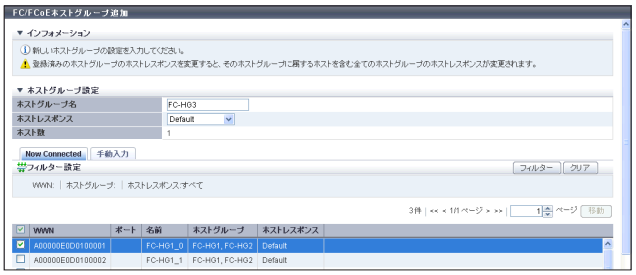
ホストグループ、CAポートグループ、およびLUNグループを関連付けてホストアフィニティを設定する場合は、以下の順序で設定します。

1. ホストグループの追加

ETERNUS DX ディスクアレイにアクセスするホスト(サーバ)の情報を追加します。

ホストグループを追加する画面は以下の方法で表示します(FCホストグループまたはFCoEホストグループの場合)。

[接続性]タブ ― カテゴリーの「Host Group」― [アクション]から「FC/FCoEホストグループ追加」をクリックします。



2. ポートパラメーターの設定

ホストインターフェースポートとサーバ間の接続情報を設定します。

ポートパラメーターを設定する画面は以下の方法で表示します(FCポートの場合)。

[接続性]タブ ― カテゴリーの「Port Group」で「FC」をクリックします。

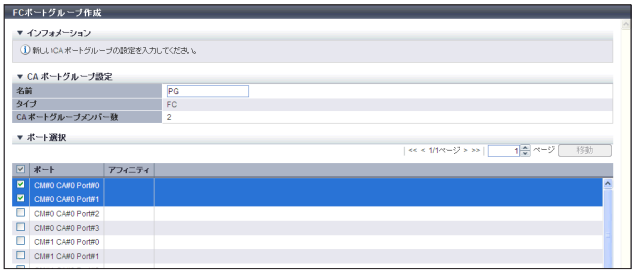
[FCポートグループ]画面で設定するFCポートのチェックボックスをチェックして、[アクション]から「FCポートパラメーター設定」をクリックします。

3. ポートグループの作成

ホストがETERNUS DX ディスクアレイにアクセスする場合のポートグループを作成します。

ポートグループを作成する画面は以下の方法で表示します(FCポートの場合)。

[接続性]タブ ― カテゴリーの「Port Group」― [アクション]から「FC ポートグループ作成」をクリックします。



4. LUNグループの追加

ホストが認識できるボリュームの集合(LUNグループ)を追加します。

LUNグループを追加する画面は以下の方法で表示します。

[接続性]タブ ― カテゴリーの「LUN Group」― [アクション]から「LUNグループ追加」をクリックします。

5. ホストアフィニティの作成

ホストグループとポートグループ、ホストグループとLUNグループの関連付けを作成します。

ホストアフィニティを作成する画面は以下の方法で表示します。

[接続性]タブ ― [アクション]から「ホストアフィニティ作成」をクリックします。

参照 導入編「5.1.6 ホストアフィニティの設定」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

STEP 5 ETERNUS DX ディスクアレイの監視設定

必要に応じて、ETERNUS DX ディスクアレイの監視設定を行います。

- ETERNUS DX ディスクアレイに異常が発生したときにイベントを通知する場合は、イベントの通知方法とレベルの設定が必要です。
- リモート通報サービスを運用する場合は、ETERNUS DX ディスクアレイの故障を富士通サポートセンターに通知するための設定が必要です。

ポイント

- リモート通報サービスをご利用いただくとトラブルの早期発見ができ、短時間でトラブルを解決できます。
- リモート通報サービスは、製品保証期間中の無償サービスまたは有償サービス「SupportDesk Standard」をご契約いただくことで利用できます。

参照 導入編「5.2 ETERNUS DX ディスクアレイの監視設定」

STEP 6 サーバとの接続

サーバと接続するために必要な設定を行います。各種ドライバのインストールやサーバとETERNUS DX ディスクアレイを接続するネットワーク機器の設定などを行ってください。
接続設定後は、サーバ側から ETERNUS DX ディスクアレイのボリュームが見えることを確認してください。

これでセットアップが終了しました。運用を開始できます。

参照
- 導入編「5.4 サーバとの接続設定」
- サーバ接続編

運用と保守

ETERNUS DX ディスクアレイの状態確認

ETERNUS DX ディスクアレイのLEDやETERNUS Web GUIから、ETERNUS DX ディスクアレイの状態を定期的に確認してください。

データのバックアップ

万一の状態に備え、重要なデータについては、定期的にテープ装置などにバックアップをとるようにしてください。

無償修理

保証書に記載された内容に従い、無償修理を行っています。

保守サポート期間

ETERNUS DX ディスクアレイの標準サポート期間は5年間です。
長期サポート対応商品の場合は、ETERNUS DX ディスクアレイご購入と同時に「SupportDesk Standard（長期サポート対応商品）」をご契約いただくことで、サポート期間が最長10年間になります。

SupportDesk Standard（有償サービス）

「SupportDesk Standard」のご契約をお勧めします。
このサービスをご契約いただくと、「ハードウェア異常のリモート通報」、「定期点検」、「ハードウェア／ソフトウェアの問題解決支援」、および「お客様専用ホームページでの運用支援情報の提供」などのサービスを受けることができます。

参照
- 運用編「4.2 ETERNUS DX ディスクアレイの状態監視」
- 運用編「6.1 定期バックアップ」
- 運用編「6.4 保守サービス」

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED

関連規約

● 製品の使用環境

ETERNUS DX ディスクアレイは、一般のお客様に安全にご使用いただけるよう設計／製造されております。ETERNUS DX ディスクアレイをご使用いただく場合には本書に記載されている設置や取り扱い上の注意事項を守ってください。本書の記述の範囲外で使用した場合、お客様および周囲の方の身体や財産に予期しない損害を生じるおそれがあります。

また、ETERNUS DX ディスクアレイは、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売させていただいております。したがって、日本国外でのご使用はできません。万一ご使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。

● マニュアルの取り扱いについて

ETERNUS DX ディスクアレイに添付されているマニュアルには、ETERNUS DX ディスクアレイを安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。ETERNUS DX ディスクアレイを使用する前に、これらのマニュアルを熟読してください。特に『安全上のご注意』をよく読み、理解したうえでETERNUS DX ディスクアレイを使用してください。また、これらのマニュアルは大切に保管してください。

弊社は、お客様および周囲の方の身体や財産に損害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。ETERNUS DX ディスクアレイを使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

● 事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用済み後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には、「事業系IT 製品リサイクルサービス」をご利用ください。
  （http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/）
  なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。
- 弊社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

● 適合規格について

Product safety（製品の安全性）	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1, EN60950-1, IEC60950-1, GOST-R
Electromagnetic Compatibility（電磁環境適合性）	CNS13438 (C6357) Class A, FCC CFR47 part 15 Class A, ICES-003 Class A, EN55022 Class A, VCCI Class A, AS/NZS CISPR22 Class A
Electromagnetic Immunity（電磁環境耐性）	EN55024
CE certification（CE認証）	Electromagnetic Compatibility Directive 2004/108/EC
	Low Voltage Directive 2006/95/EC
Environmental compliance（環境規制）	RoHS-compliant (Restriction of hazardous substances)
	WEEE-compliant (Waste electrical and electronic equipment)

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

弊社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波ガイドライン適合品

クラス1レーザー製品

ETERNUS DX80 S2/DX90 S2 ディスクアレイ
はじめにお読みください
P3AM-4872-12
発行日　2014年4月
発行責任　富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承願います。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED